

クラス番号	614	担当教員名	保正友子
テーマ	医療ソーシャルワーカーの実践能力と成長過程を考える		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】『医療ソーシャルワーカーの成長への道のり～実践能力変容過程に関する質的研究～』(単著,相川書房,2013),『キャリアを紡ぐソーシャルワーカー～20代・30代の生活史と職業像～』(共著,筒井書房,2006),『成長するソーシャルワーカー～11人のキャリアと人生～』(共著,筒井書房,2003)ほか</p> <p>【研究課題】 ソーシャルワーカーの成長過程、実践能力、社会福祉教育、エンパワーメント</p>		

ゼミナール概要

キーワード：医療ソーシャルワーカー、実践能力、成長過程、エンパワーメント

目的、内容、方法等：

現在、様々な領域で医療ソーシャルワーカー(MSW)は、実践能力を発揮して活動しています。この実践能力とは、①価値・知識・技術を適切に統合して発揮する力(的確なケース対応)、②各種システム(所属機関、関係機関、本人・家族)と関係構築を行う力、③専門的自己を確立する力(職業的アイデンティティ、ものの見方・考え方)から成り立ちます。本ゼミでは、各領域で働く MSW がどのような実践能力を有して業務を行っているのかを調べ、皆で討論したり、MSW の成長過程についての理解を深めます。2年間を通して、ゼミ生同士が互いを受けとめあい相互支援できるサポート・ネットワークを作るなかで、一人一人が成長していける「エンパワーメントできるゼミ」を目指します。MSW を目指していても目指さなくても、真剣に自分の将来を考えたい人は大歓迎です。

授業計画：1. 各期で行うこと(教員の趣味のデコレーションケーキ作りに見立てて)

- ①3年生前期(新鮮で良質な材料集め)：専門的自己を育てるワークや実践に関する各種ワークの実施と、MSW 実践に関する文献を読み、今後の学習にむけた知識と技術、すなわち新鮮で良質な材料集めを行います。
- ②3年生後期(スポンジ台を焼く)：関心ある領域の MSW の実践能力についてグループで調べ発表を行うことで、自分の土台、すなわちケーキのスポンジ台を作ります。その際、ボランティアや実習等での体験を重視します。
- ③4年生前期(デコレーション・完成)：論文作成の作法を身に付け、納得のいく卒論を執筆します。すなわちこれまで作ってきたものにデコレーションをほどこして、ケーキを完成させます。
- ④4年生後期(お店で売るための質の向上)：社会福祉士国家試験受験対策を通して、合格を目指します。すなわちお店でケーキを売るためには、一定以上の質の確保が不可欠なのでそれを実現させます。

2. 全体を通して行うこと

- ・毎時間の初めにその週にあったことを1分間自由に話す、1分間スピーチを行います。
- ・前期と後期に全員の面接を行い、今後の目標を立てます。ゼミの時間以外でも必要に応じて相談にのります。
- ・毎年2回の合宿(計4回)を予定しています。4回のうち1回は、関東地方での医療機関見学・ハンセン病資料館見学・下町フィールドワーク等を考えていますので、準備をしておいてください。
- ・ゼミ生と相談しながら、懇親会・見学会・各種の大会や学会への参加・ケーキ作り(?)等を行います。

担当教員からのメッセージ



社会福祉学部、大学院修士課程・博士課程と日本福祉大学で学び、2018年度より教員として赴任することとなりました。総合病院と老人保健施設のソーシャルワーカー経験があります。私にとって、人的ネットワークと学問的基礎を築いた日本福祉大学で、今度は学生が成長できるゼミを創りたいと思っています。私が大切にしていることは、「自由になること、変化すること、続けること、きちんと向きあうこと」です。ご一緒に、保正ゼミの初めの一步を踏み出してみませんか?ホームページに、研究・教育に関する考えを載せていますのでご覧ください。 <http://www.moka.justhpbs.jp>